

中部支部

支部長 松原貴子

中部支部では、第46回年次大会にむけて実行委員会の結成と準備活動を行っています。開催概要と企画中のプログラムをお伝えします。

1. 開催概要

(ア) 会 期 : 2022年11月26日(土)・27日(日)

(イ) 会 場 : 三重県立総合文化センター
三重県津市一身田上津部田1234

(ウ) テーマ : いのちをつなぐ～そのときをどう生きる? どう支える?

(エ) 大会ホームページ : <http://jard46.umin.jp>

大会に関する情報(プログラム、演題募集と登録、開催形式情報、宿泊案内等)を順次アップの予定です。

2. プログラム

- ・シンポジウム1 : 死を迎える苦しみをケアする
【要旨】死がもたらすこと、そこに関わるひとのあり方やケアの重要性を考え、予期悲嘆への応対・臨終のケア・グリーフケアの具体的な実践を考える。
- ・シンポジウム2 : 尊厳ある看取りのあり方～コロナ前後で変わったもの、変わらなかったもの～
【要旨】コロナ禍で看取りのありかたがどのように変わったのかを考える。
- ・シンポジウム3 : 地域で支える人生の最終段階～孤立化を見据えた死の臨床～
【要旨】2025年「多死社会」を前に、今すでに長い人生の最終段階の経過の中で、当事者、家族、介護者、医療者の「孤立化」問題が生じている。自分たちのこの先を見据えていく上で、地域でどのようにお互いを支えるのかを考える。
- ・リレーフォーラム : 食べるをつなぐ(仮)
【要旨】食べることは、いのちをつないでいく根幹である。さまざまな病状の進行の中での工夫や対応を多職種で検討する。
・パネルディスカッション1 : 身寄りのない人や家族関係が複雑な人の意思決定支援を考える(仮)
【要旨】身寄りのない人や家族関係が複雑な人の意思決定支援を考える
- ・パネルディスカッション2 : さまざまな医療の現場でのアドバンス・ケア・プランニング(仮)
【要旨】救急・集中治療の現場、緩和ケアの現場、地域連携の

現場などから、ACPをめぐる現段階の取り組みと問題点・悩み、また今後の進め方のアイデア・展望などを紹介してもらおう。貴重なインスピレーションを参加者それぞれに得る場としたい。

- ・市民公開講座：もしもの話をもっと身近に一元気な時に始める人生会議ー

【要旨】一人の人間として「人生の最終段階を自分のこととして考える」ことは、様々な困難をとまなう。死の臨床研究会年次大会の開催という特別な機会を「地域住民の方が『人生会議』の大切さや重要性を知る機会」とし、市民を対象に、大切な人の思いをキャッチしたり、つなぐことが大切であることに気づけるような公開講座としたい。

- ・ワークショップ：医療者のセルフケア

【要旨】医療者のセルフケアをテーマにして、癒しとくつろぎを得るワークショップ

- ・教育講演・特別講演 15題
- ・一般演題 4月中旬募集開始
- ・事例検討（60分枠・90分枠）4月中旬募集開始

【活動報告】

第20回研修会「臨床倫理を学ぶ～解決を急ぎすぎず事例の理解を深めるのがカギ」は、三重大学で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。

講師をお願いしていた群馬大学服部健司先生と開催形式に関し十分検討し、臨床倫理を学ぶにあたってオンライン形式ではなく「同じ場所に集い十分な時間をとって互いに対話する」形式が望ましいとの結論に至りました。

【入会のご案内】

中部支部では、随時新規会員を受け付けております。下記の事務局連絡先に、中部支部入会とし、お名前と連絡住所をメールもしくはFAXしてください。追って、申込用紙を返信いたします。

中部支部入会金：1000円 中部支部年会費：1000円

【問い合わせ先】

〒504-8601

岐阜県各務原市蘇原東島町4丁目6-2

公立学校共済組合東海中央病院

TEL ; 058-382-3101

FAX ; 058-382-1762

E-mail; miho.sawai@tokaihp.jp

担当者：澤井美穂